



株式会社 もち米の里ふうれん特産館

事業計画名：なよろ特産の餅を世界に！計量機導入による生産性改善と品質向上



切り餅の製造ラインに導入された計量機。裁断した餅を計量台上載せると、指定した個数と重量の組み合わせが自動的に選別される



切り餅、製造ラインの機械化を推進 「労働時間削減」と「生産性向上」を両立

もち米生産量全国一の名寄市で、切り餅や大福など年5億円を売り上げる「もち米の里ふうれん特産館」。同市風連町のもち米農家7戸が立ち上げた（現在4戸）。もち米の市場評価が低かった30年前から加工品を販売。地元住民を雇用し、年50万人が訪れる道の駅「もち米の里☆なよろ」の運営も手掛ける企業へと成長した。農業の6次産業化の先駆者として、道内産業の振興をもけん引する。



道の駅や通販でも人気の切り餅「田舎もち雪の里」シリーズ。パッケージに札幌の著名切り絵師・藤倉英幸氏の作品を採用している

従来から同社は、手作業に依存する切り餅の製造ラインの効率向上に課題を感じていた。そこで本事業を知り、製造ラインに最新の「計量機」と「検査機」を導入。一連の計量・検査工程における機械化を図ることでボトルネックを解消し、長時間労働の減少など作業員の負担軽減と製造ラインの業務効率化を実現。生産性向上、収益力強化につなげている。

事業の背景

コンビニの委託製造などで業績伸ばす中 切り餅の製造工程がボトルネックに

自ら育てたものに付加価値を付けて売り出すべく、もち米の主力ブランド「はくちょうもち」の特徴を生かした切り餅の製造販売からスタートした同社。現在は年間150万個を売り上げる「ソフト大福」など豊富な商品ラインナップを揃え、道の駅での店頭販売に加え、道内の大手スーパーやオンラインショップでも販売している。また、大手コンビニのおでん種の中着餅、大手ファストフードの和風スイーツに使う白丸餅の製造委託も受け、売上高の中で大きなウエイトを占めている。

そのような中、主力商品の一つである切り餅の製造ラインにおける計量とその確認検査が手作業で行われており、製造工程におけるボトルネックとなっていた。それを解消し、生産性の向上や人手不足の解消、労働環境の改善につなげることが喫緊の課題であった。

実施内容

計量・検査工程に最新機器を導入

本事業で切り餅製造ラインに最新の「計量機」と「検査機」を導入し、一連の計量・検査工程における機械・自動化を図った。

切り餅は50g×5個入り（合計250g）を1セットとして販売されており、計量機は裁断した餅を計量台上に載せると5個で250gとなる組み合わせを自動選別する。また、検査機は計量機によって選別された1セットの重量を最終確認し、設定した重量になっていないものを見つけて取り除く仕組みとなっている。



不良品を自動で弾く検査機の導入によって、品質の維持・向上にも大きな威力を発揮する

事業成果

生産量2倍に、廃棄ロスも削減 リソースの再分配で生産性も大きく向上

計量機と検査機の導入によって一連の工程の処理スピードが大幅に上がり、切り餅の生産性が導入前の約2倍（1日あたり）に高まった。また、計量ミスによるやり直し作業や廃棄ロスも削減され、品質の安定と向上にも大きく寄与している。製造ラインの省人化・省力化が図られたことで、

現場職員の労働時間短縮など作業環境改善への効果も非常に大きい。各製造工程を最適化してできた余剰人員を商品開発や新規販路開拓などに再配分し、全体的な収益の増加にもつながった。



VISION

代表取締役 堀江 英一 氏

特産品のもち米を使った商品で、農閑期の出稼ぎからの脱却や地域雇用創出を実現できないかと考え、賛同者を募ったのが創業のきっかけです。20年以上にわたって地元商品の発掘に注力し、仲間や若手社員の発想を生かした商品開発などさまざまな挑戦を続けてきましたが、当初の基本はあくまで「農業」です。もち米生産者であり続けることを忘れず、これからも皆さんに美味しいもち米ともち米加工品をお届けし、地元いかに貢献していくかを大事にしていきたいと思っております。もち米加工品に限らず、北海道の「農」や「食」にはまだまだ無限の可能性あります。私は北海道・名寄が大好きで、この地域で生まれ育ったことを誇りに思っています。だから、日本を代表する逸品として名寄の餅やもち米加工品を全国に、そして世界に打ち出していくことが目標です。



あくまで本業はもち米生産農家だと語る創業メンバー。除草剤以外の農業を使用せず、減化学肥料によって栽培している

もち米生産者であり続けることを忘れない
名寄ブランドの「餅」を世界に発信していく

COMPANY DATA

株式会社 もち米の里 ふうれん特産館

TEL.01655-3-2332 FAX.01655-3-4118
https://mochigome.jp

- 所在地：〒098-0507 名寄市風連町西町334番地2
- 代表者名：代表取締役 堀江 英一
- 資本金：4,040万円
- 従業員数：43名 ※冬季期間約20名増員（2021年12月現在）
- 設立：平成6年（1994年）11月
※創業は平成元年（1989年）1月
- 事業内容：もち製品の製造販売および飲食業
道の駅「もち米の里★なよろ」指定管理者

○道の駅「もち米の里★なよろ」内【本店】（名寄市風連町西町334番地1）
※平成20年4月、道の駅「もち米の里★なよろ」指定管理者となり、売店・レストランを同駅内に移転
○ふうれん特産館 名寄店【直営支店】（名寄市徳田80-1イオン名寄ショッピングセンター内）